

教養教育科目

講義科目

基本/OCR

SC

iNetSC

| | | | | |
|-------|------------|-------|------|----|
| 授業科目名 | コミュニケーション論 | 科目コード | 配当年次 | 単位 |
| 担当教員 | 嶋田 淑之 | GA34 | 1 | 2 |

科目の概要

現代の情報化社会では、モノや情報は足りていても、心が満たされるコミュニケーションがとれない、という状況が起きている。

本科目では、対人コミュニケーションに的を絞り、行動科学に基づいた実践的コミュニケーションの方法を学習する。テキストの第1・2章では、コミュニケーションの基礎的理論を学習し、第3・4章では「交流分析」と「ソーシャル・スタイル」という実践的手法を用いて豊かな対人関係のあり方を学習する。

科目の到達目標

- ① コミュニケーション論の基本概念や専門用語について理解し、説明することができる。
- ② 現実社会におけるコミュニケーションについての事例を論理的に考察できる。

| | |
|------|---------------------------|
| テキスト | 『コミュニケーション』宮城 まり子, 産業能率大学 |
|------|---------------------------|

テキストの読み方

- ① コミュニケーションとは何か、その機能と重要性を理解する。
- ② コミュニケーションに関する基本的なキーワード(人名含む)、キーコンセプトを身につけ、使いこなせるようにする。
- ③ それを通じて、自らの(さらには、自分と関係の深い他者の)コミュニケーション特性を知り、日常生活を、より円滑で充実したものにする契機となす。

単位修得の方法

- ① リポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。または、
- ② スクーリングを受講し、合格すれば2単位を修得できる。この場合、リポート課題の提出と科目修得試験の受験は不要。